

ゆずりは通信

第4号 平成21年2月20日(隔月発行)
発行：ゆずりはの会事務局
電話：0565-35-7182
Eメール：takekaki@hm8.aitai.ne.jp
ホームページ：
<http://www.hm9.aitai.ne.jp/~warabino/>

活動を始めてからの1年間を振り返って

1. ゆずりはの会の生い立ち

ゆずりはの会とは、映画“終わりよければすべてよし”を鑑賞した人たちが、もう少し深く勉強しようと集まったグループです。大切なテーマでありながら、話題にされる機会が少ない死の問題を取り上げて、幅広く話し合える場を提供しています。

会では、勉強会を重ね、様々な視点から死を観ることにより、各会員の死に対する思いを明確にし、さらにその思いを実現させるために、可能なところで活動することを目的としています。

また、勉強会は会員以外にも広く参加者を募って開催し、そこで得た知識を元に「自分らしく生き、逝く」ことを、自分の住んでいる地域で実現できることを模索しているところです。

2. 昨年の活動

昨年1年間の活動を裏側に掲載しています。会員は30名余です。二つの大きな分野を勉強してきました。「ホスピス関係」と「介護関係」です。

3. 今年の予定

<ホスピス関係>

1. あいちホスピス研究会に、引き続き入会して、講演会などの行事に参加。
2. ホスピス関係の職場の方やボランティアグループの方を招いての勉強会の開催

<介護関係>

1. 豊田市 高齢福祉課との共働事業として、**市民講座** を開催する計画です。

- ① 期間は、5月からの半年間で、7回の講座を考えています。
- ② 内容は、**介護から医療**の分野までをカバーします。他県の**先進地域での取り組み**や、身近で活躍している**市民の話**を聞き、**介護施設**を訪れて実状を理解します。参加者どうしの**話し合い**をもちます
- ③ 目的として、こうした講座の受講を通じて、自分が何をできるかなどを考えられるようになりたいです。

2. 会独自の独自行事として 介護関係、さらに広く 高齢福祉に関する勉強会を行ってゆく予定です。

4. 入会のお誘い

- ① 入会すると、各種行事の案内を差し上げます。それらに参加できます。
- ② 同じような思いを持っている人と話し合うことができ、知り合いが増えます。
- ③ どなたでも参加できます。お互いに勉強しようと集まる緩やかな会です。
- ④ 関心ある方は 事務局に問い合わせください。

竹内一良 電話：0565-35-7182 メール：takekaki@hm8.aitai.ne.jp

ゆずりはの会の平成 20 年の活動(詳細は頭記のホームページを)

1. 出発点

2008/3/1 映画「終りよければすべてよし」の上映会

鑑賞者 740 名

3/28 映画を觀賞しての座談会

愛知ホスピス研究会の永井照代氏を講師にお招きしました。

2. ホスピス関係

4/26 「死の前で 33 年」

講師:徳永進氏 野の花診療所長 あいちホスピス研究会主催の公開講座を聴講

5/31 「生と死を見つめて共に生きる」を聴講

講師:沼野尚美 六甲病院 緩和ケア病棟 チャプレンカウンセラー

6/15 「メディア社会と心の発達」～絵本、読書の新しい意味～を聴講

講師:柳田邦夫

6/28 「日本の緩和ケアの動向・いのちの講座」を聴講

講師:高宮有介 昭和大学医学部 主催:あいちホスピス研究会

9/29 第 4 回「緩和ケアとは」

講師:豊田厚生病院緩和ケア部長 西村大作先生 にお話しいただきました。

10/4 「いのちへの配慮」を聴講

講師:米沢慧氏

11/29 「岡崎ホスピスケアを考える会の活動内容」の勉強会

講師:橋詰清子 岡崎ホスピスケアを考える会

12/6 「愛知県のホスピス医を迎えて話す会」を聴講

講師:愛知県のホスピス医 11 名 主催:あいちホスピス研究会

3. 介護関係

6/4 第 1 回勉強会「終の棲家の探し方」介護保険関係施設の概要を説明いただいた。

講師:山下律子 介護施設と地球を結ぶ市民の会

6/21 第 3 回「愛知県内特別養護老人ホーム調査報告」を聴講

講師:山下律子 介護施設と地球を結ぶ市民の会

7/17 長岡市のこぶし園訪問

施設長の小山剛氏が案内してくださった

。

7/22 第 2 回 「豊田市の高齢福祉課の現状と将来」高齢福祉課の出前講座

講師:高齢福祉課 田中、岡田、木下氏

1/25 「地域を支えるボランティア活動」を聴講

講師:村田幸子 福祉ジャーナリスト

1/31、2/1 支え合いマップ&ご近所福祉研究集会を聴講

講師:木原孝久 住民福祉総合研究所